

令和7年度 北九州市立上津役小学校 学校経営方針

めざす学校像

- 子どもが主役となる明るく楽しい学校
- 確かな信頼で結ばれた学校
- 進んで学び合う学校

学校教育目標

思いやりの心もち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成
～ 上津役中学校区 めざす子ども像 『やさしく かしく たくましく』～

めざす教師像

- 日々の授業を大切にする教師
- 子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師
- 子どものために力を合わせ、支え合う教師
- 自分の家族や家庭を大切にする教師

めざす子ども像

『やさしく』

思いやりの心もち、相手の立場に立って考える子ども

【具体的な方策】 全ての子どもの居場所づくり

- 自己肯定感を高める学級経営
～3つの「あ(あいさつ・ありがとう・あきらめない)」～
・教室で聞こえる「あいさつ」「ありがとう」を見逃さない。
・子どもの、「あきらめない」姿をみんなで認め合う。

2 互いの思いの通い合い

- ・互いに見つけたよさ(例:「あったかことば」、思いやりの行動)
- ・伝え合うことは自分の居場所をもつこと。週に1回、全員発表。
- ・学級活動や掃除の時間に活躍する子を発見。

3 生徒指導体制の確立

- ・組織的かつ迅速な対応のため、
① 確実な「報告・連絡・相談」を。(危機管理意識)
② 結果の記録による共通理解。(記憶より記録)
・「指導する先生」「見過ごす先生」がないように。

『かしく』

自ら学び、自ら考え、自分の考えを表現する子ども

【具体的な方策】 互いを認め合う授業づくり

- 「できる」「わかる」授業づくりのための授業改善の推進
・基本的な学習規律の確立のため、ぶれない指導、継続的な指導。
・自分の考えを伝える活動とICTを活用した交流や評価。
・主題研修や若年研修による授業力の向上。

2 特別支援教育の充実

- ・支援を要する児童の教育環境の充実と支援体制づくり。
- ・通常学級に在籍する、教育的支援の必要な児童の支援の工夫。
- ・配慮が必要な児童の共通理解。関係機関との連携。ケース会議。

一時間一時間の中に教育のすべてがある

- ・根気強く、繰り返す。・教職員間で共通理解し、協力して臨む。
- ・ほめて育てる。自信をつけさせ、意欲を引き出す。
- ・子どもを伸ばす叱り方。その行為を叱る。先生の思いを語る。
- ・過去や他の人を比較しない。大声でなく毅然とした態度で。

『たくましく』

命を大切にし、健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども

【具体的な方策】 体と心、命の大切さを味わう教育活動

- 子どもの健康と安全を確保するための対応策の充実
・体力向上に通じる体育科授業づくり。「あきらめない」姿。
・自分の命を自分で守る教育活動。防災教育。
・アレルギー等の対応を確実に。
・交通安全指導の徹底。緊急連絡メール、学校HPの運用と活用。

2 あらゆる教育活動における人権意識の高揚と人権感覚の育成

- ・確かな人権意識と人権感覚による温かい指導。同和問題、LGBT等。
- ・いじめを絶対に許さない。日常の学習や生活でアンテナをもつ。
つながりプログラム。

3 全ての教職員の共通理解と協働体制のもとでの学校力の向上

- ・若年の育成、一人一人のよさの発揮。
- ・学習指導・生徒指導の協働的で多面的な関わり。

令和7年度重点目標

- 3つの「あ」の『あいさつ』 ⇒ 「こ(心を込めて)・え(笑顔)・だ(誰にでも)・あ(相手を見て)・つ(続けよう)・し(自分から自信をもって)」
- より多くの子どもが「学校が楽しい」と感じるための「居場所づくり」「互いを認め合う授業づくり」 ⇒ 学級会や国語を通して思いを伝え合う

「チーム上津役」の信頼と結束

- ◎ 互いを思いやり、明るく元気な職場で、心をつなげて、よりよい仕事を。ワークライフバランスの充実。
- ◎ 一人にしない。一人で抱え込めない。何でも話し合える職員室に。
- ◎ 心と体の声を聴き、健康管理に努めよう。
- ◆ 教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。体罰は絶対許さない、許されない。

